

## 増築棟の目指す姿 (B グループ)

### ②災害に強く安全な庁舎

- ・水害に備えて、備蓄品、非常用発電（燃料）、電気、水、システム系については、上階へ配置
- ・対策本部や職員の拠点も災害時には上階へ配置
- ・水害に耐えられる高さの立体駐車場等の整備
- ・災害時においても、ネットワークを維持できる環境の整備

### ③環境にやさしく経済的な庁舎

- ・太陽光をはじめとする様々な自然エネルギーを活用した庁舎
- ・採光や自然換気に配慮した建物デザインとし、省エネを図る
- ・フリーアドレスを利用し、省エネを図る
- ・雨水の再利用（トイレ排水）
- ・空調等について使用室のみ稼働させ、使用エネルギーを分散、集約する
- ・高効率の省エネ機器の導入
- ・ZEB Oriented相当の建設物となることを目指す  
(延べ床面積1万平米以上の建物で、「基準となるエネルギー消費量から、建物の用途ごとに設定されたエネルギー消費量の削減（事務所や学校、工場などで40%、ホテルや病院などで30%）すること」を指す)

### 【グループAから出た意見】

- ・窓と照明器具をバランスよく配置し、執務室内の必要な照度が確保された庁舎
- ・窓を設けない諸室などについては、換気に十分に配慮するとともに、メンテナンス性の優れた換気設備を選定すること
- ・増築棟に設置する窓ガラスは、外気を取り込むための開閉が可能であり、遮熱性・断熱性の高い製品を選定すること